

Hospital
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー [ビ・イー]
徳島大学病院 西病棟 1階ロビー

主催：徳島大学病院
協力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科
監修：武蔵野美術大学
基礎デザイン学科教授・坂東孝明
第31回を迎える今回は、武蔵野美術大学の
監修により、徳島で活躍する地元作家の
作品展とさせていただきます。

memory

思い出のミニチュア着物展

2019.4/29 [月] - 8/24 [土]

大自然を庭の中に縮小した日本庭園、部屋で聞く音楽を歩きながら聞く音楽へと変えた
ヘッドホンカセットステレオ、食卓の食事を小さな箱に詰め込んだ幕の内弁当…。

日本人の縮小志向は、野球まで小さくし「スモールベースボール」と称された。

遠藤久美子もまた、着なくなり処分されるはずの着物を「小さな世界」で甦らせた。

絹糸を使い、すべて手縫いで仕立てられたミニチュア着物の精巧さは、着付けの美しさに
いたるまで実寸着物と寸分変わらない完成度である。手間のかかる仕立てを続けられたのは
完成したときの喜び以上に「思い出の詰まった着物をずっと大切にしたいから」と語る。

作品に用いた生地は、かつて誰かが纏っていた着物であることを忘れてはならない。

見る者を魅了してやまない艶やかな作品の数々には「ものを捨てるということは、思い出を
捨てること」という作家の考えが通底している。あなたにもあるでしょ？ 着物の思い出。

そんな問いかけが聞こえてきそうである。

